

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-142	22-322	慶應義塾大学 加藤眞三
<b>題名 (原題/訳)</b>		
<p>Is clinicians' alcohol consumption associated with their preventive practices to reduce unhealthy alcohol use? A systematic review of current evidence.</p> <p>臨床医のアルコール消費は、不健康なアルコール使用を減らすための予防的実践と関連しているか？現在のエビデンスのシステマティックレビュー。</p>		
<b>執筆者</b>		
Romero-Rodríguez E, Fuster D, Pérula de Torres LÁ, Saitz R.		
<b>掲載誌</b>		
Alcohol Clin Exp Res (Hoboken). 2023 Jan;47(1):7-17. doi: 10.1111/acer.14962. Epub 2023 Feb 11.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール使用障害；臨床医の飲酒；予防；スクリーニング		36773022
<b>要旨</b>		
<p>個人的な飲酒を含む臨床医のリスク行動は、不健康な行動を減らすための臨床的な予防サービスの提供だけでなく、患者の生活習慣を変えようとする態度や動機に影響を与える可能性がある。今回のシステマティックレビューの目的は、臨床医のアルコール消費と不健康なアルコール使用を減らすための予防的実践との関連に関する既存のエビデンスをまとめることであった。</p> <p>レビューは、コクランガイドラインおよび Preferred Reporting Items for Systematic Reviews and Meta-Analyses (PRISMA) 声明のガイダンスに従って実施した。3つのデータベース (Cochrane、MEDLINE、Web of Science) を 2021年7月1日から 2021年11月30日まで検索した。臨床医のアルコール使用と関連する予防的実践との関連を報告する定量的観察研究を対象とした。2名のレビューアーが独立に論文をスクリーニングし、データを抽出し、選択した研究の質を評価した。1986年から 2018年に発表された 10件の研究を対象とした。</p> <p>10件の研究のうち8件において、臨床医の飲酒量と不健康な飲酒を減らすための予防的実践との間に統計学的に有意な関連が認められた。飲酒量が多い臨床医は、アルコール使用に関するスクリーニングやカウンセリングを患者に提供することが少なかった。定期的 (週3日以上) に飲酒する臨床医は、アルコール使用のスクリーニングを行う可能性が低く、これらの専門家によるアルコール使用の頻度は、断酒を勧めることと逆相関していた。臨床医のアルコール使用は、不健康なアルコール使用のスクリーニングや、それを減らすためのカウンセリングと関連しているようである。また、臨床医の飲酒の頻度や量は、不健康な飲酒に対処するための実践とも関連していた。</p>		